

ネック可変式人工股関節置換術におけるネック選択性の男女差についての後方視的研究 に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022 年 12 月 20 日 ～ 2023 年 9 月 30 日

〔研究課題〕

ネック可変式人工股関節置換術におけるネック選択性の性差についての後方視的研究

〔研究目的〕

ネック可変式人工股関節置換術は術後の脱臼予防に有効です。股関節の正常構造における男女差はよく知られていますが、ネック可変式人工股関節置換術において、股関節を再建した場合のネック選択性に男女差が存在するかは明らかにされていません。本研究ではネック可変式人工股関節置換術を施行された患者さんを後ろ向きに検討し、ネック選択性に男女差が存在するかを調査することが目的です。

〔研究意義〕

ネック可変式人工股関節置換術におけるネック選択性に男女差があることが明らかになれば、術後の合併症である脱臼のリスク軽減につながる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

ちば総合医療センターで 2007 年から 2014 年の間にネック可変式人工股関節置換術を受け、診療録、画像データが残っている患者さんを対象にしています。

調査項目：年齢、身長、体重、手術側、疾患名、手術時間、出血量、手術展開法、使用したインプラントの情報

主要評価項目：ネック選択性の男女差の有無

解析方法：「ネック選択性の有無」と「性差」を用いて、2×2 分割表を作成し、Fisher の正確性検定を用いて統計学的有意差の有無を調査します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター整形外科の単独研究です。

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は加工し、個人が特定されることがないようにいたします。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：重村知徳（帝京大学ちば総合医療センター整形外科 講師）

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 （代表）〔内線 2633〕